



左から 木村ひでこ、中村しんご、片岡ちとせ、三小田准一

提案で無所属議員との

共同広がる

日本共産党区議団は無所属議員と協力して5つの条例提案を行いました。昨年引き続き提出した費用弁償等廃止の条例案は、みずま雪絵議員に加え、小川ゆうた議員、小林ひとし議員も加わり、7名での共同提案となりました。公

明党も選挙公約などで高校3年生までの医療費無料を掲げていますが、本条例で「15歳」の定めを「18歳」に改めることに反対しました。5つの条例案はいずれも賛成少数で成り立っていませんでしたが、昨年に続き前進が見られました。

新年度予算の中で、これまで共産党が要求してきた政策が反映されたものもあります。「乳がん検診の無料化」「小中学校への生理用品の配備」「区内の中小企業の実態

調査」「公共施設の再エネ電力利用」は、ジエnder平等社会実現や命と暮らしを守ること、将来世代への環境保全の意識の向上を促してきた議会論戦と区民の声もたらした成果です。

いのちと暮らしを守る コロナ対策に全力

政府のコロナ対応は、本当に遅れています。感染拡大を抑え込むためにも、また、感染症の基本である検査体制も不十分であり、濃厚接触者の追跡など後手後手となり、未だ感染を抑え込むに至っていません。本来ならば、こう

政府のコロナ対応は、本当に遅れています。感染拡大を抑え込むためにも、また、感染症の基本である検査体制も不十分であり、濃厚接触者の追跡など後手後手となり、未だ感染を抑え込むに至っていません。本来ならば、こう

市民に寄り添った対策を講じなくてはいいけないのに、都が実施しているPCR等検査無料化事業や、自宅療養者への食料配達などは全く把握されていません。これでは、

PCR検査の迅速化、PCR検査の無料化事業の大規模展開、保健所体制の強化で濃厚接触者の追跡や陽性者を自宅に置き去りにしない対応、個人と事業者への独自の給付金など、一貫して要求をしてきました。その中で、子育て・高齢者施設における

PCR検査等費用の助成延長や高齢者へのPCR検査が1000円から500円になりました。しかし、まだまだ十分とは言えません。新型コロナウイルスの感染が高止まりし、再び拡大するきざしも見えています。第7波に備えるためにも、コロナから区民のいのちと暮らしを守る区政運営への転換が必要です。

5本の条例提案 3月30日最終本会議での採決の結果

- ・15歳までの医療費無料を18歳まで拡大
賛成 共産 沼田 みずま 反対 自民 公明 区民 その他無所属議員4名
- ・後期高齢者医療費窓口負担の半額助成
賛成 共産 おおにし みずま 反対 自民 公明 区民 その他無所属議員4名
- ・児童相談所開設にさきがけて子どもたちの権利を守る「子どもの権利条例」
賛成 共産 小川 みずま 反対 自民 公明 区民 その他無所属議員4名
- ・国民健康保険の未就学児保険料をゼロに
賛成 共産 おおにし 沼田 みずま 反対 自民 公明 区民 その他無所属議員4名
- ・議員報酬の二重取りとなる「費用弁償の廃止」
賛成 共産 小川 小林 沼田 みずま 反対 自民 公明 区民 その他無所属議員4名



葛飾区議会は全会一致でウクライナ侵攻に抗議する決議を採択しました
3月5日 青砥駅にて抗議の宣伝をする区議団



発行 日本共産党 葛飾区議会議員団 03(5654)8520 (直通) 責任者 中村しんご

日本共産党 葛飾区議団だより

日本共産党区議団のホームページをご覧ください
http://www.jcp-katsushika.jp/

跡地 森永乳業 買収をあきらめずに交渉のテーブルに

森永乳業東京工場跡地を「公有地の拡大に関する法律」(以下、公拡法)によって取得することをわが党がいち早く提案し、区はこの跡地買収に動き始めました。

公拡法では、自治体に公示価格で先買い権を定めていますが、それを阻止するために森永乳業は、三菱UFJ

信託銀行に土地資産を信託し、信託受益権を特定目的会社に売却しようとしていることがわかりました。

そのため、森永乳業側は、葛飾区に公示価格では、250億円余の跡地を700億円という高値でなければ、譲渡しないという態度に出ました。

しかも信託受益権をえるのが「物流関係」と報道されており、そうなればこの付近の交通事故、大気汚染、渋滞

など生活環境が一変するところが懸念されます。

区が買収に動いた背景には、根強い世論があるからです。南葛SCがJリーグに昇格するにはスタジアムが必要で、それだけに数少ない大規模な土地である森永乳業跡地の活用が求められています。

公拡法では、双方が交渉を断念した時に決裂するとされています。公拡法による交渉を断念せず、再開する必要があります。

区役所 移転計画

660億円では済まない

区は、1月25日付の区広報で2ページにわたり「庁舎移転計画」は247億円だと、日本共産党の主張が間違っているといわんばかりの記事を掲載しました。

党区議団は、この間の宣伝が効いているからこの反論であり、また、公費を使

たわが党への攻撃であるとして、この広報に反論する全

区教委が示した学校外プール活用のシミュレーションでは、移動時間がかかり、他の授業や給食への影響が明らかになりました。さらに区立温水プールは、区民のスポーツ振興・健康の向上という社会教育のための施設であることを条例で規定しています。

水泳指導は学校のプールを使ってこそ



社会教育法では、社会教育は「学校の教育課程における教育活動を除く」と定めています。学校の水泳授業優先に使うことは法令にも条例にも反します。そもそも学校プール廃止に対して、区議会には区民からの請願が4件だされており、それだけでも区民合意がないことは明らかです。「学校プールなくすな」の声をあげましょう。



に膨れ上がります。

とりわけ、権限のない借家人への説明が事実上行われていないことへの批判が高まり、自民党からも区役所の位置を変える条例(地方自治法で3分の2以上の賛成が必要)に「このままでは賛成できない」という発言がありました。道理のない再開発

の矛盾が広がっています。

戸配布ビラを作成しました。広報は、国と都の補助金を意図的に隠しましたが、660億円だけではなく、新館の改修、公社の土地の買い戻しなど、さらに80億円以上の経費が必要なることが明らかになりました。

それどころか、1000㎡の集会施設をつくることまで計画し、税金投入はさら



片岡ちとせ 建設環境委員会 区民サービス向上対策特別委員会
080-5197-7547 相談日 毎月第3金曜日

予算審議で、公園や道路の高木が吸収する CO2 の見える化や、庭木の管理に対する助成の強化、高齢者専用住宅の充実を求めました。公共が担う役割をきちんと果たさせながら、葛飾の良さを残したまちづくりを進めます。

木村ひでこ 保健福祉委員会 区民サービス向上対策特別委員会
090-8640-5378 相談日 毎月第1水曜日

青砥橋が、優先的に整備を検討する橋梁の6つの橋のなかの一つに位置づけられました。「青砥橋にエレベーター設置」は、住民の切実な声と署名が大きな運動となり一歩前進しました。引き続き取り組んでまいります。

中村しんご 議会運営委員会 文教委員会 都市基盤整備対策特別委員会
090-8686-2671 相談日 毎月第3水曜日

ちょうど100年前にロシアへの干渉に日本軍がシベリア出兵直後に反戦平和を掲げて結党したのが日本共産党です。ウクライナ侵略は、ロシア・プーチン政権の蛮行です。一刻も早い停戦へ、反戦平和の世論を広げましょう。

三小田准一 総務委員会 危機管理対策特別委員会
090-8040-1181 相談日 毎月第2木曜日

週1回3か所のまちかど演説を始めて4月で2年目に入りました。聴衆の有無にかかわらず、日常的に党の政策、区政の問題などを伝えています。今年からは新小岩たつみ橋交差点での週1回の宣伝も始めました。

お困りごとは各議員の携帯電話にご連絡ください